

社叢学研究第7号 目次

都市の中の社叢 上甫木 昭春・清水 美砂

千葉県の鎮守の杜の民俗 猿田 正祝

社叢保全のための社寺・都市公園の隣接整備に関する研究 長谷川 泰洋・岡村 穰

～名古屋市における都市公園と隣接する社寺の実態調査から～

平成20年度総会シンポジウム「鎮守の森の現在と未来」

基調講演 上田 正昭

パネルディスカッション

パネリスト

松本 岩雄（島根県立出雲歴史博物館学芸部長）

杵村 喜則（島根自然保護協会会長・元島根大学助教授）

錦田 剛志（万九千神社、立虫神社禰宜・

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター企画員）

園田 稔（京都大学名誉教授・社叢学会副理事長）

コーディネータ 菅沼 孝之（元奈良女子大学教授・社叢学会副理事長）

平成20年度総会研究発表の概要

鎮守の森の活動報告 向日市 大阪市

社叢定点観測事業について 上田 篤

書評『無常という名の病 受け継がれる魂の遺伝子』 園田 稔

書評『日本人“魂（たま）”の起源』 井上 満郎

東アジアの鎮守の杜とその持続

～韓国の「鎮山と堂山信仰」と台湾の「大樹公信仰」を中心に 李 春子

里山と社叢およびその保全と再生について 重松 敏則